

2025 年日本国際博覧会(大阪・関西万博)
関連事業に関する要望

令和 **3** 年 **7** 月

大 阪 府
大 阪 市
関 西 広 域 連 合

公益社団法人 関西経済連合会
関西商工会議所連合会・大阪商工会議所
一般社団法人 関西経済同友会

公益社団法人 **2025** 年日本国際博覧会協会

万博は、地球的課題と人類社会の持続的な発展を主なテーマとし、人類の進歩や将来ビジョンを示すことで、人類における変化の意義への理解を助け、世界が直面する難題解決への針路を示してきました。

現在、新型コロナウイルスの感染拡大により、世界中で多くの命が失われ、経済が厳しいダメージを受けています。また、少子高齢化への対応、温室効果ガスの排出削減、食料の安定供給と食品ロスの削減など、様々な社会課題に直面しています。

こうした中で開催される、**2025**年日本国際博覧会(略称「大阪・関西万博」)は、我が国が「課題解決先進国」として、一人一人がそれぞれの可能性を最大限発揮できる持続可能な社会を、国際社会と共に創っていく契機となります。また、「いのち」をテーマに掲げる万博として、ライフサイエンスなどの大阪・関西が有する強みを最大限に発揮しながら、コロナ禍という世界的な危機を乗り越え、未来への希望を世界に示していく必要があります。

大阪・関西は、古くから国内の政治・文化・経済の中心地として、また、国内外の玄関口として、世界と共に発展してきました。進取の気質に富み、また「三方よし」に代表される社会貢献の考えのもと、これまで、生活スタイルを変革する製品や世界標準となる社会システムを生み出すとともに、様々な社会課題を解決してきました。こうした歴史的な厚みを土台に、現在は高い技術力を持つものづくり企業をはじめ、ライフサイエンスや環境関連分野における企業、大学、研究機関等が数多く集積しています。

このような特徴を持つ大阪・関西において、その強みをいかんなく発揮し、「課題解決型」万博の着実かつ円滑な開催と、万博を通じた新技術の開発やスマートなまちづくりなどの有形・無形のレガシーの創出に向けて、取組みを進めることが求められています。そうすることで、大阪・関西万博を一過性のイベントとせず、開催後においても、ポストコロナにおける成長・発展の起爆剤や、世界の課題解決を促す処方箋としての役割を果たすことができます。

これにより、新たな価値観・イノベーションや多様なチャレンジを生み出すことによる大阪・関西の持続的成長や、誰もが健康でいきいきと活躍できるいのち輝く幸せな暮らし、SDGsの達成に向け世界の課題解決に貢献する都市・地域を実現することができ、ひいては、我が国の存在感の向上や国際社会の中で輝く日本の実現に結びつくと考えています。

このためには、万博関連事業において、会場周辺のインフラ整備等に加え、「いのち輝く未来社会のデザイン」の具体化や大阪・関西全域での「未来社会の実験場」の体現等に向けたソフト事業や規制改革にも取り組むことが不可欠です。

このたび、大阪府、大阪市、関西広域連合、公益社団法人関西経済連合会、関西商工会議所連合会・大阪商工会議所、一般社団法人関西経済同友会及び公益社団法人 **2025** 年日本国際博覧会協会は、本万博の基本方針を踏まえ、インフラ整備に関する関連事業のとりまとめを行いました。国におかれましては、これら事業の着実な実施に向けて、財源の確保や適切な地方財政措置を講じるなど、格別のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

あわせて、ソフト事業・規制改革について、基本方針や大阪・関西の特徴を踏まえ、関連事業をとりまとめました。国におかれましては、この考え方を踏まえ、ソフト事業の実施や拡充、必要な規制改革を進めていただくとともに、地元自治体や関係団体・企業の取組みに対する財政的、技術的支援を賜りますよう、お願いいたします。また、これら事業等を通じて形成される成果や万博会場における展示や実証等で得られた成果を一過性のもので終わらせることなく、万博を通じたレガシーとして開催後も継承されるよう取り組んでいただきますよう、お願いいたします。

さらに、これらの事業を、国際博覧会推進本部において関連事業計画として決定いただきますよう、特段のご配慮をお願い申し上げます。

令和3年7月

大阪府知事	吉村 洋文
大阪市長	松井 一郎
関西広域連合長	仁坂 吉伸
公益社団法人 関西経済連合会 会長	松本 正義
関西商工会議所連合会 会長・大阪商工会議所 会頭	尾崎 裕
一般社団法人 関西経済同友会 代表幹事	古市 健
代表幹事	生駒 京子
公益社団法人 2025 年日本国際博覧会協会 会長	十倉 雅和

I 関連事業について

大阪・関西万博を通じて、世界の中で我が国の存在感を向上させ、国際社会の中で輝く日本を実現するためには、先述のとおり、本万博を一過性のものとせず、ポストコロナにおける成長・発展の起爆剤として、また世界の課題解決を促す処方箋として、万博開催後もその役割を発揮させることで、大阪・関西の持続的成長、いのち輝く幸せな暮らし、世界の課題解決に貢献する都市・地域の実現につなげていく必要があります。

持続的成長については、「やってみなはれ」の精神を活かし、大阪・関西全体を「未来社会の実験場」として、新たな価値観やイノベーションの創出、未来への投資を促進するとともに、世界中からチャレンジする人材や企業を呼び込み、新たな投資やイノベーションを生み出す好循環を実現していく必要があります。それにより、大阪・関西万博がポストコロナにおける我が国の経済成長を力強くけん引することが可能になります。

いのち輝く幸せな暮らしについては、世界に先駆けて高齢化が進む大都市圏として、大阪・関西が、新たな医療技術の活用などにより、健康寿命の延伸や感染症に強いまちづくりを進め、誰もが健康でいきいきと活躍できる社会を実現することで、我が国全体の生活の質の向上に貢献することができます。

世界の課題解決に貢献する都市・地域の実現に向けては、ライフサイエンスや環境関連分野などにおける大阪・関西の課題解決力を更に高めるとともに、「三方よし」などSDGsの達成にもつながる大阪・関西の価値観を世界中の人たちと共有し、課題解決に向けて共創していくことが重要です。それにより、大阪・関西が課題解決先進都市・地域として世界中に認知され、国際社会の中で輝く日本の実現につながります。

これらの実現に向けては、万博を着実かつ円滑に開催するとともに、万博開催を通じて有形・無形のレガシーを創出し、大阪・関西万博を成功させることが不可欠です。また、国や自治体、博覧会協会だけでなく、イノベーティブな技術やサービス等を有する中小企業や、スタートアップ企業、NPO、大学・研究機関等、幅広い主体が、会場となる夢洲はもとより大阪・関西全体で、万博のテーマの具体化等に取り組むことが必要です。

こうしたことを踏まえ、万博の円滑な開催を支え、万博の効果を高めるとともに、開催後の大阪・関西の成長基盤に必要な関連事業について、行政が中心となって計画的に進める必要があるインフラ整備に加え、ソフト事業や規制改革についても、とりまとめを行うこととしました。

インフラ整備については、基本方針を踏まえ、①会場周辺のインフラ整備、②会場へのアクセス向上、③安全性の向上、④にぎわい・魅力の向上、⑤広域的な交通インフラの整備の観点から、関連事業をとりまとめました。

ソフト事業・規制改革については、基本方針や大阪・関西の有する強みやポテンシャル

ルを踏まえ、(1)ライフサイエンス・ヘルスケア分野の研究開発等による健康長寿社会の実現、(2)大阪・関西全域で「未来社会の実験場」の体現、(3)カーボンニュートラルや「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の実現、(4)先端技術を駆使した「スマートシティ」の実現、(5)多様な魅力の創出・発信やさらなる交流の促進、(6)来訪者の受入環境の整備の観点から、関連事業をとりまとめました。

II インフラ整備

大阪・関西万博を着実かつ円滑に開催し、開催後の大阪・関西の成長基盤となるよう、基本方針を踏まえ、万博に関連して実施し、開催までに整備が必要となる事業について、次のような考え方の下、国が実施又は支援する事業(以下、「国等が実施する関連事業」という)と、これに密接に関連する地方単独事業に分類し、とりまとめました。

1 インフラ整備の考え方

① 会場周辺のインフラ整備

万博の着実かつ円滑な開催のため、「会場周辺における基盤整備」、「来場者の輸送力増強のための道路や鉄道の整備」及び「物流機能の強化」を行う。

② 会場へのアクセス向上

関西広域から会場へのアクセスのため、「空港や港湾、主要ルートとなる高速道路や鉄道の強化」、「主要ルートに接続する道路、隣接する府県から大阪府域へのアクセス道路の機能強化」、「道路や鉄道の安全施設の整備やバリアフリー化」及び「会場への歩行者、自転車によるアクセス機能強化」を進める。

③ 安全性の向上

安全・安心な大阪・関西万博の開催を確保するため、「南海トラフ巨大地震対策をはじめとした地震津波対策として、施設の耐震化や災害時の活動拠点の整備」、「近年激甚化している台風等による浸水対策として、治水施設の整備及び海岸保全施設の整備」及び「アクセスルートの安全性の確保やテロ等に備えた保安対策」を進める。

④ にぎわい・魅力の向上

大阪・関西万博来場者の交流拡大を図るため、「新たな都市拠点の形成や魅力ある公共空間づくり」、「大阪・関西が有する歴史観光資源や、和食や伝統芸能等豊かな文化資源などとのネットワーク強化」を進める。

⑤ 広域的な交通インフラの整備

関西圏の環状高速道路ネットワークの形成、大規模災害等に備えた強靱な国土づくり及び夢洲、新大阪、関西 3 空港への鉄道アクセスの強化など、大阪・関西の成長基盤となる広域的な交通インフラの強化を進める。

2 国等が実施する関連事業

万博に関連して実施し、開催までに整備が必要となる事業のうち、国等が実施する事業を、(別表1)国等が実施する関連事業一覧のとおりまとめました。

3 上記2に示す事業と密接に関連する地方単独事業

万博開催までに、大阪・関西の地方自治体を実施する事業のうち、国等が実施する事業と密接に関連し、国等が実施する事業と相まって大きな効果を発揮する事業を、(別表2)地方単独事業一覧のとおりまとめました。

4 万博関連事業等における財源の確保及び地方財政措置について

上記2及び上記3に示す事業は、大阪・関西万博の成功に欠かせない事業であり、コロナ禍という不測の状況下においても、開催準備を着実に進めていく必要があることから、本万博の開催に支障を生じさせないように、以下のとおり、財源の確保や適切な地方財政措置を講じていただきますようお願いいたします。

① 上記2(別表1)に示す「関連事業」について

- ・国が行う直轄事業等に必要な財源の確保と着実な事業の実施。
- ・大阪府・大阪市等が進める、開催に必要な事業及び万博開催後の大阪・関西の成長に不可欠な事業を着実に進めるために必要な財源の確保や適切な地方財政措置。

② 上記3(別表2)に示す地方単独事業について

- ・開催に必要な事業が着実に進められるための適切な地方財政措置。

③ 特別の財政需要に対する特別交付税措置について

- ・大阪メトロ中央線の留置線やき電線を万博開催時に一時的に増設するなど、万博来場者のための輸送力増強に資する取組みについての特別交付税措置。

(別表1)国等が実施する関連事業一覧

① 会場周辺のインフラ整備

○下水道関係

- ・下水道整備(舞洲抽水所、此花下水処理場)

○港湾関係

- ・阪神港におけるコンテナ物流の効率化(AIターミナル)
- ・大阪港北港南(夢洲)地区国際海上コンテナターミナル整備(荷捌き地の拡張)
- ・水上交通ネットワークの整備(係留施設の整備)
- ・此花大橋拡幅
- ・舞洲幹線道路の立体交差化
- ・夢舞大橋拡幅
- ・夢洲域内幹線道路拡幅
- ・大阪メトロ中央線延伸(鉄道南ルート)
- ・航路整備(尼崎西宮芦屋港 東海岸町沖地区)

② 会場へのアクセス向上

○道路関係

- ・淀川左岸線(2期)整備

・道路整備

(三国塚口線(国道 176 号～大阪池田線)、十三高槻線(正雀工区)、
内里高野道線(大阪府域)、美原太子線(粟ヶ池バイパス)、
国道 371 号(石仏バイパス)、国道 170 号(若樫工区)、
大阪岸和田南海線(府中工区)、淀川南岸線、淀川左岸線(豊崎入路)、
西野田中津線、長柄堺線(あべの筋)、桜島東野田線、長尾杉線(杉工区)、
北山通線、宇治田原大石東線(龍門工区)、
山城総合運動公園城陽線(城陽橋)、国道 307 号(郷之口、市辺～奈島)、
宇治木屋線第 1 工区(宇治田原山手線)、宇治木屋線第 3 工区(犬打峠)、
国道 312 号(大宮峰山インター線)、内里高野道線(京都府域)、
南港山東線(西浜～関戸)、泉佐野打田線(重行～打田)、
井関御坊線(原谷～萩原)、すさみ古座線(西向)、
千穂王子ヶ浜線(千穂～春日))

- ・淀川左岸サイクルロード整備

- ・(仮称)大和川サイクルライン整備

- ・正蓮寺川歩行者専用道整備

○港湾関係

- ・堺泉北港国際物流ターミナル整備

○鉄道関係

- ・南海本線・高師浜線(高石市)連続立体交差事業推進
- ・鉄道駅バリアフリー化(大阪メトロ、**JR** 西日本ほか民営鉄道主要駅)
- ・北大阪急行延伸

○空港関係

- ・関西国際空港の機能強化

○公安委員会関係

- ・会場周辺の道路やアクセス道路における交通の安全と円滑化を確保するための交通安全施設等整備

③ 安全性の向上

○道路関係

- ・橋梁の耐震対策(茨木寝屋川線、国道 **176** 号等)
- ・無電柱化(国道 **170** 号、福島桜島線、築港深江線、大阪生駒線等)
- ・駅前広場の整備(阪急服部天神駅前広場)
- ・大阪駅前地下空間の防災・減災対策(大阪駅前地下道東広場)
- ・端建蔵橋の架替

○河川関係

- ・淀川の河川改修
- ・大和川流域の強靱化(遊水地整備、河川改修、流域貯留浸透事業推進等)
- ・安威川ダム建設
- ・法善寺多目的遊水地整備
- ・布施公園調節池整備
- ・寝屋川北部地下河川整備
- ・南海トラフ巨大地震対策(六軒家川、道頓堀川、住吉川)
- ・桂川、宇治川、木津川の河道掘削、河川改修等

○下水道関係

- ・門真守口増補幹線整備(門真市速見町～守口市大久保町1丁目)

- ・雨水ポンプ更新(安威川流域、淀川右岸流域、寝屋川流域、大和川流域)
- ・雨水排水等下水道施設の電気設備更新
(猪名川流域、安威川流域、淀川右岸流域、寝屋川流域、大和川流域、南大阪湾岸流域)
- ・浸水対策
(淀の大放水路(大隈～十八条幹線)、此花ポンプ場建設、豊崎～茶屋町幹線)
- ・下水道施設の耐震化
(福島桜島線、築港深江線、大阪生駒線、国道1号、国道2号、国道 **26** 号、国道 **423** 号)
- ・いろは呑龍トンネル整備(桂川右岸流域下水道)

○港湾関係

- ・大阪港の国際港湾施設における保安対策
- ・南海トラフ巨大地震対策
(南港ポートタウン線、大阪メロ中央線、新木津川大橋、大阪港海岸)
- ・排水機場等の更新(新川排水機場、見落川水門、北境川水門)

○鉄道関係

- ・鉄道施設の耐震性強化
(大阪メロ中央線ほか民営鉄道主要駅や鉄道の高架橋)
- ・ホームドア、可動式ホーム柵整備
(大阪メロ中央線、御堂筋線、谷町線、四つ橋線、堺筋線ほか民営鉄道主要駅)

○公園関係

- ・防災公園整備(久宝寺緑地、蜻蛉池公園)

○住宅関係

- ・延焼遮断帯整備促進(三国塚口線、寝屋川大東線)
- ・広域緊急交通路沿道建築物耐震化促進(国道 **423** 号、大阪和泉泉南線等)

④ にぎわい・魅力の向上

○道路関係

- ・自転車通行環境整備
(国道 **479** 号、旧大阪中央環状線、大阪八尾線、堺阪南線、

大阪和泉泉南線、みなと通り、北港通り、国道176号、なにわ筋等)

○まちづくり関係

- ・うめきた **2** 期開発(新駅、東海道線支線地下化、公園)
- ・御堂筋の道路空間再編・活性化(側道の利活用)
- ・水都大阪再生地区(中之島)まちなかウォークラブル推進事業
(中之島通の歩行者空間再編等)
- ・観光魅力向上のための歴史・文化的なまちなみ創出(大阪市内の無電柱化等)
- ・なんば駅周辺における空間再編
- ・大浜北町市有地活用事業の推進
- ・枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発

○河川関係

- ・淀川舟運活性化(淀川大堰閘門等)
- ・大和川・堺市かわまちづくり事業促進
- ・道頓堀川・東横堀川の水辺魅力空間づくり

○下水道関係

- ・合流式下水道の改善(深野北ポンプ場)
- ・道頓堀川・東横堀川の水辺魅力空間づくり(中浜 **MBR**)

○港湾関係

- ・天保山クルーズ客船受入機能強化

○公園関係

- ・難波宮跡公園の整備
- ・都市公園の整備・魅力向上
(箕面公園、りんくう公園、毛馬桜之宮公園、正蓮寺川公園、鶴見緑地、
(仮称)小松公園、木津川運動公園、鴨川公園)

⑤ 広域的な交通インフラの整備

○広域幹線道路関係

- ・新名神高速道路整備
(八幡京田辺 **JCT・IC**～高槻 **JCT・IC**、大津 **JCT**～城陽 **JCT・IC**)
- ・淀川左岸線(**2** 期)整備(再掲)
- ・大阪湾岸道路西伸部整備(六甲アイランド北～駒栄)

- ・神戸西バイパス整備
- ・北近畿豊岡自動車道整備 一般国道 **483** 号(豊岡道路、豊岡道路Ⅱ期)
- ・鳥取豊岡宮津自動車道(山陰近畿自動車道)整備
(京丹後大宮 **IC**～大宮峰山 **IC**(大宮峰山道路)、浜坂道路Ⅱ期、竹野道路、岩美道路)
- ・中国横断自動車道姫路鳥取線整備
(播磨自動車道(播磨新宮 **IC**～宍粟 **JCT**)、鳥取自動車道(志戸坂峠))
- ・東播磨道整備(八幡稻美ランプ～(仮)国道 **175** 号ランプ)
- ・東播丹波連絡道路整備 一般国道 **175** 号(西脇北バイパス)
- ・近畿自動車道敦賀線(舞鶴若狭自動車道)整備
(舞鶴東 **IC**～小浜西 **IC** の一部4車線化)
- ・近畿自動車道紀勢線 一般国道 **42** 号道路整備
(すさみ串本道路、串本太地道路、新宮道路、新宮紀宝道路)
- ・一般国道 **42** 号湯浅御坊道路及び近畿自動車道松原那智勝浦線の **4** 車線化
(御坊 **IC**～南紀田辺 **IC**)
- ・中国横断自動車道(米子自動車道)整備
(江府 **IC** 付近・溝口 **IC** 付近の付加車線整備、
県境部・江府 **IC**～溝口 **IC** の **4** 車線化)
- ・山陰自動車道整備(北条道路)
- ・四国縦貫自動車道の4車線化(土成 **IC**～美馬**IC**)
- ・四国横断自動車道整備(徳島 **JCT**～阿南 **IC**)
- ・阿南安芸自動車道整備(阿南 **IC**～小野 **IC**、海部 **IC**～野根 **IC**)
- ・中部縦貫自動車道整備 一般国道 **158** 号(大野油坂道路)
- ・淀川左岸線延伸部整備
- ・名神湾岸連絡線整備
- ・京奈和自動車道整備 一般国道 **24** 号(大和北道路、大和御所道路)
- ・高速道路の早期着手(京都縦貫自動車道(園部 **IC**～丹波 **IC**)の4車線化)

○鉄道・軌道関係

- ・なにわ筋線整備
- ・北大阪急行延伸(再掲)
- ・大阪メトロ中央線延伸(鉄道南ルート)(再掲)
- ・大阪モノレール延伸

(別表2)地方単独事業一覧

① 会場周辺のインフラ整備

○港湾関係

- ・下水道整備(夢洲・舞洲島内)
- ・夢洲土地造成(夢洲 2 区北側 30 ha)
- ・上水道整備(夢洲・舞洲島内、此花区北港)
- ・此花大橋改修
- ・夢洲域内観光外周道路整備
- ・夢舞大橋拡幅
- ・夢舞大橋歩道改修
- ・夢洲域内幹線道路拡幅
- ・大阪メトロ中央線延伸(鉄道南ルート)
- ・夢洲物流車両の交通円滑化に向けた対策(コンテナ車整理場の整備)
- ・夢洲域内高架道路整備
- ・咲洲C6・7埠頭ガントリークレーンの整備
- ・尼崎西宮芦屋港 東海岸町沖土地造成

② 会場へのアクセス向上

○道路関係

- ・淀川左岸線(2期)事業関連施設整備(下水道幹線移設)
- ・新御堂筋の改修(新御堂筋 専用レーンカラー化)
- ・道路整備(西野田中津線、長柄塚線(あべの筋)、桜島東野田線)
- ・淀川左岸サイクルロード整備
- ・歩行者専用道整備(正蓮寺川歩行者専用道)

○鉄道関係

- ・大阪メトロ中央線輸送力増強に伴う留置線やき電線等の増設・撤去

○港湾関係

- ・臨海部土地造成

○公安委員会関係

- ・会場周辺の道路やアクセス道路における交通の安全と円滑化を確保するための交通安全施設等整備

③ 安全性の向上

○道路関係

- ・橋梁の耐震対策(国道 176 号)
- ・無電柱化(福島桜島線、築港深江線、大阪生駒線)
- ・新御堂筋の改修
- ・大阪駅前地下空間の防災・減災対策(大阪駅前地下道東広場)

○河川関係

- ・南海トラフ巨大地震対策(六軒家川、道頓堀川、住吉川)
- ・鴨川等の河川緊急浚渫

○下水道関係

- ・下水道施設の耐震化(吐口)
- ・浸水対策(此花ポンプ場建設、豊崎～茶屋町幹線、集中豪雨被害軽減対策)

○港湾関係

- ・埋立地における浸水対策(夢洲・咲洲・舞洲)

○海岸関係

- ・高潮対策

④ にぎわい・魅力の向上

○道路関係

- ・自転車通行環境整備(みなと通り、北港通り、国道176号、なにわ筋等)
- ・大阪駅前地下道の床面補修
- ・大阪駅東口高架下の道路施設補修
- ・大阪駅西口高架下の照明LED化
- ・中之島遊歩道の道路照明灯LED化
- ・中之島橋梁の修景施設リニューアル
- ・高架下の景観整備(千日前通、新御堂筋)
- ・千日前通における自転車駐車場の景観向上
- ・自転車駐車場の景観向上(※)
- ・バリアフリー整備(※)
- ・道路附属物の景観向上(※)
- ・仁徳天皇陵周辺の案内標識整備
- ・東海岸町臨港道路施設補修

- ・東海岸町臨港道路照明灯 **LED** 化

○まちづくり関係

- ・うめきた2期開発(東海道線支線地下化)
- ・御堂筋の道路空間再編・活性化(側道の利活用)
- ・観光魅力向上のための歴史・文化的なまちなみ創出(大阪市内の無電柱化等)
- ・なんば駅周辺における空間再編

○河川関係

- ・中之島 **GATE** における乗換ターミナルの整備
- ・大阪城エリアにおける舟運拠点空間づくり
- ・道頓堀川・東横堀川の水辺魅力空間づくり

○下水道関係

- ・道頓堀川・東横堀川の水辺魅力空間づくり(東横堀川送水管)

○公園関係

- ・都市公園の整備・魅力向上(扇町公園)
- ・大仙公園施設改修等

(※)シャトルバス発着場と主要交通機関をつなぐ動線等

Ⅲ ソフト事業・規制改革

1 ソフト事業・規制改革に関する基本的な考え方

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、まさにいのちとの向き合い方が問われている中、「いのち」を主要テーマとする大阪・関西万博においては、コロナ禍を乗り越えた先にある、希望に満ちた未来社会の姿を示していくことが求められています。

このためには、**2025**年に向けて、国、地方自治体、関係団体・企業が一体となって、テーマ・コンセプトの具体化や関連分野のイノベーション創出、万博による社会変容や価値創造の加速化、万博の円滑な運営や快適な滞在環境の実現に向けた取組みを進めていく必要があります。

これらの実施にあたっては、万博会場における展示や実証の実施、国内外への発信に加え、得られた成果を国内外で社会実装までつなげ、未来を切り拓くレガシーとすることを見据えて取り組んでいくことが必要です。

このような観点から、以下のとおり、ソフト事業・規制改革に関する関連事業の基本的な考え方を整理しました。

(1) テーマ・コンセプトの具体化や関連分野のイノベーション創出

大阪・関西万博において最先端技術による希望に満ちた未来社会の姿を示していくためには、会場設計、環境・エネルギー、移動・モビリティ、情報通信・データ、会場内エンターテインメントといった分野を中心とした多くの実証プロジェクトにより、未来を予感させる様々な技術・サービス・システムを生み出していく必要があります。そのためには、大阪・関西はもとより我が国全体で、「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマの具体化や、**Society5.0**の実現に資する「未来社会の実験場」というコンセプトの体現に取り組むとともに、これらに関連するライフサイエンスやヘルスケア、環境といった分野におけるイノベーションを創出することが必要です。これらにより、我が国の課題解決力が向上し、持続可能社会の構築、関連産業の成長、ひいては我が国の経済成長にもつながると考えています。

大阪・関西においても、今回の万博を契機に、「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマの下、「未来社会の実験場」という万博のコンセプトを大阪・関西全域で強力に推進していくことで、この実現に貢献してまいります。

(2) 万博を契機とした社会変容や価値創造の加速化

万博を契機に、我が国自身が、社会変容や価値創造を加速化させるとともに、その姿を国内外へ発信していくことも重要です。これには、我が国において、更なるSDGs理念の浸透、イノベーションを生む源泉となるチャレンジ精神の醸成、新たな文化・芸術の創造等を図るとともに、万博を契機に、多様な価値観の融合を進めていく

ことが必要です。

これにより、ポストコロナの時代に求められる社会像を世界と共創していくことができると考えています。

(3)万博の円滑な運営や快適な来場・滞在環境の整備

大阪・関西万博の円滑な運営に向けては、運営関係者や来場者等が安心して参加し楽しむことができるよう、大阪・関西の地域住民や関係機関等の理解と協力を得ながらセキュリティ対策や感染症対策等に取り組むことが不可欠です。また、外国人や障がい者など、多様な国・地域、主体、年代・属性の人々の参加を促すとともに、快適に来場・滞在できる環境を整備することも必要です。

2 ソフト事業・規制改革の方向性

1で示した考え方にに基づき、基本方針や大阪・関西の特徴を踏まえ、ソフト事業や規制改革の方向性を、以下の6分野ごとに整理しました。

これらは、関西各府県はもとより、我が国全体の成長・発展や社会課題の解決に資するものであるとともに、**Society5.0**の実現や**2050**年カーボンニュートラル、SDGsの達成、観光立国など、国の政策の実現にもつながるものです。

国におかれましては、以下を踏まえ、ソフト事業の実施や拡充、必要な規制改革を実行していただくとともに、地元自治体や関係団体・企業の取組みに対する財政的、技術的支援を賜りますよう、お願いいたします。

なお、ソフト事業・規制改革については、新たなアイデアの創出や事業進捗によるアップデートが見込まれるため、今後も継続的に要望を行う予定です。

(1)ライフサイエンス・ヘルスケア分野の研究開発等による健康長寿社会の実現

世界的にも高齢化の進展が見込まれる中、世界に先駆けて人生**100**年時代が到来する我が国において、すべての人が健康な生活および長寿を楽しむことができる健康長寿社会を形成し、世界に向けて発信していくことが必要です。

大阪・関西には、京都大学 **iPS** 細胞研究所をはじめライフサイエンス分野の大学・研究機関が集積しており、最先端の研究開発が行われています。また、彩都、北大阪健康医療都市(健都)や、関西文化学術研究都市、神戸医療産業都市など世界トップクラスの研究機関や企業が集積する産業拠点を中心に、オープンイノベーションの取組みが関西各府県で進んでいます。このような強みも活かしながら、万博を契機に、ライフサイエンス、ヘルスケア分野の更なるイノベーション創出や、健康寿命の延伸に向けた取組みを加速させる必要があります。

これにより、すべての人が適切な保健医療サービスを受けることができる「ユニバー

サル・ヘルス・カバレッジ」の実現に貢献できるとともに、健康・医療関連産業の活性化、ひいては我が国の経済成長につながると考えています。

① 感染症に強いまちづくりの推進

現在、我が国のみならず世界中が、まさに英知を結集して新型コロナウイルスの克服に向けて日々奮闘しているところです。ポストコロナ社会においては、コロナ禍を教訓として感染症に強いまちづくりを進めていくことが世界共通の課題となります。このような中で、「いのち」をテーマに掲げる万博として、来訪者の感染対策の徹底とともに、新興感染症にも強靱な都市・地域の在り方を示していかなければなりません。

このため、新興感染症に対する国産ワクチンや有効な治療薬の早期実用化に向けた研究開発、様々な感染症を早期に探知する新技術の開発等を促進することが必要です。併せて、サーベイランス体制の強化、検疫体制や医療提供体制の充実も必要です。

② 高度医療技術の研究開発や社会実装、産業化の促進

我が国は世界最高水準の高度医療技術を有し、iPS細胞を活用した再生医療など、これまでにない新しい医療技術の研究も進んでいます。また、大阪・関西では、未来医療国際拠点など、新たな研究開発と産業化の拠点形成に向けて動き出しています。

万博を契機に、これらの未来に向けた投資を更に加速させ、新たな治療法の開発や社会実装、それを支える産業化を進める必要があります。また、未来医療に関する倫理的課題に対する国民の理解促進が必要です。

③ 先端技術を活用した次世代ヘルスケアサービスの創出

世界に先駆けて、超高齢社会に突入している我が国において、健康寿命の延伸に加え、健康状態に応じて、誰もが生涯を通じ自らの意思に基づき活動的に生活できる社会の実現を図っていく必要があります。このためには、健康・医療・介護に関するデータの連携・活用等を促進することにより、次世代ヘルスケアサービスを創出することが重要です。また、データ収集に係る国民の理解促進や、研究活動等への国民の参画を促進するとともに、万博会場における生体認証やバイタルデータの取得に向けた制度整備等を進める必要があります。

(2)大阪・関西全域で「未来社会の実験場」の体現

大阪・関西万博を、多様なプレイヤーによるイノベーションを誘発し社会実装していく「未来社会の実験場」とするためには、多様なチャレンジを会場内外で生み出す

仕掛けづくりを開催前から継続的に行っていく必要があります。

この取組みにより得られた実証結果やその取組過程で醸成されたチャレンジ精神は、大阪・関西万博のレガシーとして、将来のイノベーションの源泉となります。

大阪・関西では、地域全域で「未来社会の実験場」を体現していくことで、様々な主体による多様なチャレンジを引き出し、新たな技術、サービス、システムを生み出してまいります。

① スマートモビリティの推進

大阪・関西万博は、スマートモビリティの実用化に向け、安全性や社会受容性といった課題をクリアしながら実証実験を行うことができる最適な場です。特に、「未来社会の実験場」のシンボルとして、空飛ぶクルマの実現に取り組めます。

大阪・関西は、海上空港、湾岸エリアと都市部が海や河川でつながっており、住宅地等の上空をほとんど通らない航路設定が可能となる絶好の地勢となっています。大阪・関西万博での空飛ぶクルマの実現に向けて、インフラ整備や制度設計、安全面を考慮した社会的受容性の向上などに取り組んでいく必要があります。

併せて、自動運転や **MaaS** 等の実現に向けた取組みを促進することで、大阪・関西万博においてスマートモビリティの実現をめざしてまいります。

② フィジカル空間とサイバー空間を融合させる取組みの促進

デジタル化の進展により、フィジカル空間(実社会)とサイバー空間(仮想空間)の融合が、新たなサービスの創出や社会課題の解決につながる可能性が注目されています。**AR/VR**、ロボティクス、アバター、自動翻訳などの活用により、遠隔地からのリアルな体験や作業のほか、言葉の壁や身体能力を超えた活動などが可能になると期待されています。

この実現に向けては、万博という特別な街を活用しながら、バーチャル万博やコモングラウンド(空間に存在する様々なものをデジタル情報として扱うことによって、人とロボットが共通認識を持ちうるプラットフォーム)といった具体的取組みを推進し、リアルとバーチャルを融合させた新しい万博の姿を打ち出していくことが重要です。

③ 多様なチャレンジを生み出す環境の整備

「未来社会の実験場」の実装には、チャレンジしやすい環境づくりが肝要です。

このため、万博会場内外における実証に向けた、各種規制緩和や手続きの簡素化・迅速化を図る必要があります。また、起業家やスタートアップ等による多様なチャレンジを促進するため、伴走支援体制の構築や資金支援の拡充、国内外の若者を対象とした起業家精神の醸成等が必要です。

(3)カーボンニュートラルや「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の実現

温暖化対策や海洋プラスチックごみなどの環境問題の解決と経済成長を両立させる社会の姿を示すことも、大阪・関西万博に課せられた使命です。

大阪・関西には、環境課題に対応してきた実績と環境関連産業の集積があります。このような強みも活かし、新技術の開発・実用化や、環境負荷を軽減する取組みなどを促進していく必要があります。

① カーボンニュートラルの実現に向けた革新的イノベーションの創出

2050年カーボンニュートラルの実現という高い目標を達成するためには、更なる革新的イノベーションの創出が不可欠です。再生可能エネルギーの導入・利用の拡大とともに、水素エネルギーや **CO2** の直接空気回収 (**DAC**)、帯水層蓄熱冷暖房といった先端技術の開発や実装を進め、万博会場の **CO2** フリー化・移動のゼロエミッション化に取り組む必要があります。併せて、会場アクセス及び会場内移動のゼロエミッション化に向け、**EV** や **FCV** など次世代モビリティの開発や実用化の促進が必要です。

大阪・関西万博を脱炭素社会のトップモデルケースとすることで、万博後の脱炭素ドミノにつながると考えています。

② 「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の実現に向けた研究開発等の促進

G20 大阪サミットにおいて共有された「大阪ブルー・オーシャン・ビジョン」の実現については、サミット開催国として、万博との相乗効果も引き出しながら、世界の先頭に立って推進していく必要があります。バイオプラスチックなど関連技術の開発を促進するとともに、会場が海に囲まれているという立地条件も活かし、全国の先進的取組みを万博会場周辺で実践、発信することで、世界の海洋プラスチックごみの削減に貢献できると考えています。

(4)先端技術を駆使した「スマートシティ」の実現

大阪・関西万博においては、**IoT**、**AI** 等の先端技術を活かし、社会課題の解決に向けた様々な実証が行われます。その成果をレガシーとして未来に継承し、先端技術の活用による都市課題の解決や都市機能の効率化を図る「スマートシティ」の実現に結び付けていくためには、課題解決力の源泉となる幅広いデータの収集、連携、利用や、最先端技術の開発、活用を促進することが重要です。

これにより、我が国が掲げる **Society5.0** の実現に大きく貢献できると考えています。

① 広域データ連携を展望した都市 OS の構築と活用の促進

都市に分散する膨大なデータを有機的に連携させ、**QOL**(生活の質)の向上や様々な課題解決につなげるためには、事業者、エリア、分野を超えてデータを連携、流通させるプラットフォーム「都市 **OS**」の構築が不可欠です。

そのためには、スーパーシティ制度の活用などにより、個人情報が含まれるデータを連携・流通させるためのルール整備や規制緩和を行うとともに、地域の実情に応じた広域データ連携基盤を構築する必要があります。

その上で、データ連携を活用した新しいサービスや取組みを創出していくことが重要です。

② 次世代通信システムの開発と活用の促進

大阪・関西万博を未来社会のショーケースとするためには、最先端の通信システムの開発とその活用を促進する必要があります。

現在、**5G**の次の世代の無線通信システムである **Beyond5G(6G)**のほか、海上や上空に加え災害時にも安定した通信サービスを提供する技術の開発などが進められています。万博に向け、このような次世代通信システムの開発を加速化させるとともに、電波関連規制の緩和等によりこれらの活用を促進することが必要です。

(5) 多様な魅力の創出・発信やさらなる交流の促進

新型コロナウイルスにより、大きなダメージを受けた観光産業や文化・芸術活動等の再生は、ポストコロナの大きな課題です。

大阪・関西万博は、激減したインバウンドの呼び水となるビッグイベントです。我が国の多彩な観光資源との連携による相乗効果を発揮させ、全国への誘客に繋げることで、観光立国の実現に向け大きく寄与できると考えています。

また、参加国をはじめ万博を訪れた外国人と地域との幅広い相互交流を通じて多文化に対する理解と親善を深め、万博のレガシーとして我が国の文化振興を図ることも必要です。

① 観光立国実現に向けた関西の観光資源と万博との連携

古代国家の基礎が築かれた大阪・関西は、世界遺産、国宝、重要文化財等の歴史観光資源が多く残り、神社仏閣、歴史的建造物、伝統芸能、和食等の幅広い文化資源を有しています。

このような多彩な観光資源を持つ各地域と万博会場である夢洲をシームレスにつなげることにより、大阪・関西をはじめとした日本の魅力を世界に発信するとともに、大阪・関西万博が多くの来訪者を各地域に誘導するゲートウェイとしての機能を発揮することが重要です。

② 多様な文化・価値観の融合

世界中から訪れる多様な文化・価値観を持つ人々を大阪・関西のみならず日本全国でおもてなしし、あらゆる場面で地域との相互交流を促進することで、異文化交流や新たな価値観の創出を図る機会としなければなりません。このためには、来阪外国人等と地域との交流促進の取組みが重要です。

(6) **来訪者の受入環境の整備**

全ての来訪者が、安心して大阪・関西に集い、万博を楽しめるよう、受け入れ態勢の整備や、安全性の確保を図ることが不可欠です。

① 来訪者の安全安心の確保に向けた受入体制の整備

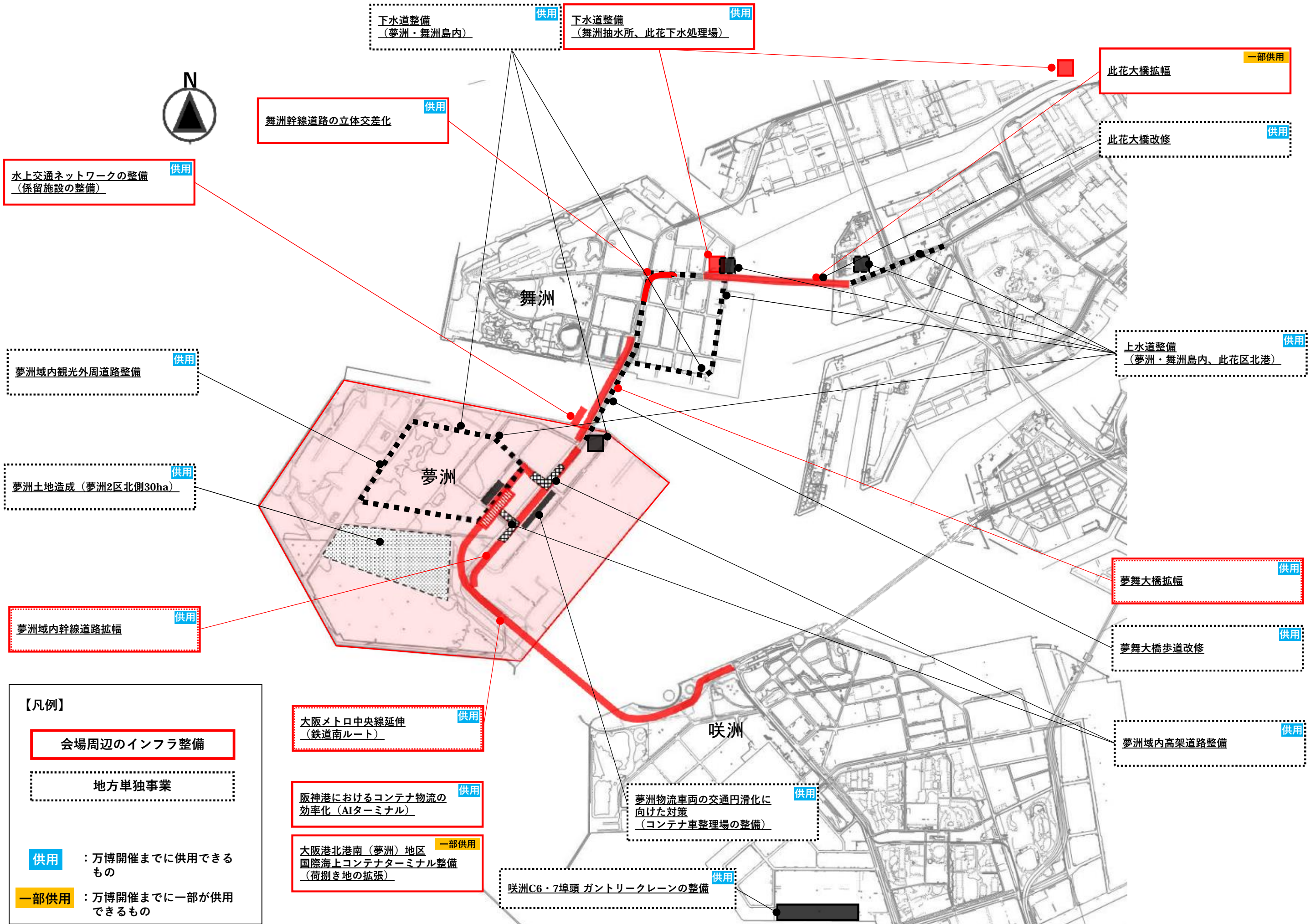
全ての関係者、来訪者及び地域住民の安全・安心の確保、及び外国人来訪者の受入環境の整備に向け、空港運用や出入国体制の強化、サイバーセキュリティの確保、自然災害や感染症対策の徹底が必要です。

② 来訪者や運営関係者が過ごしやすい環境整備

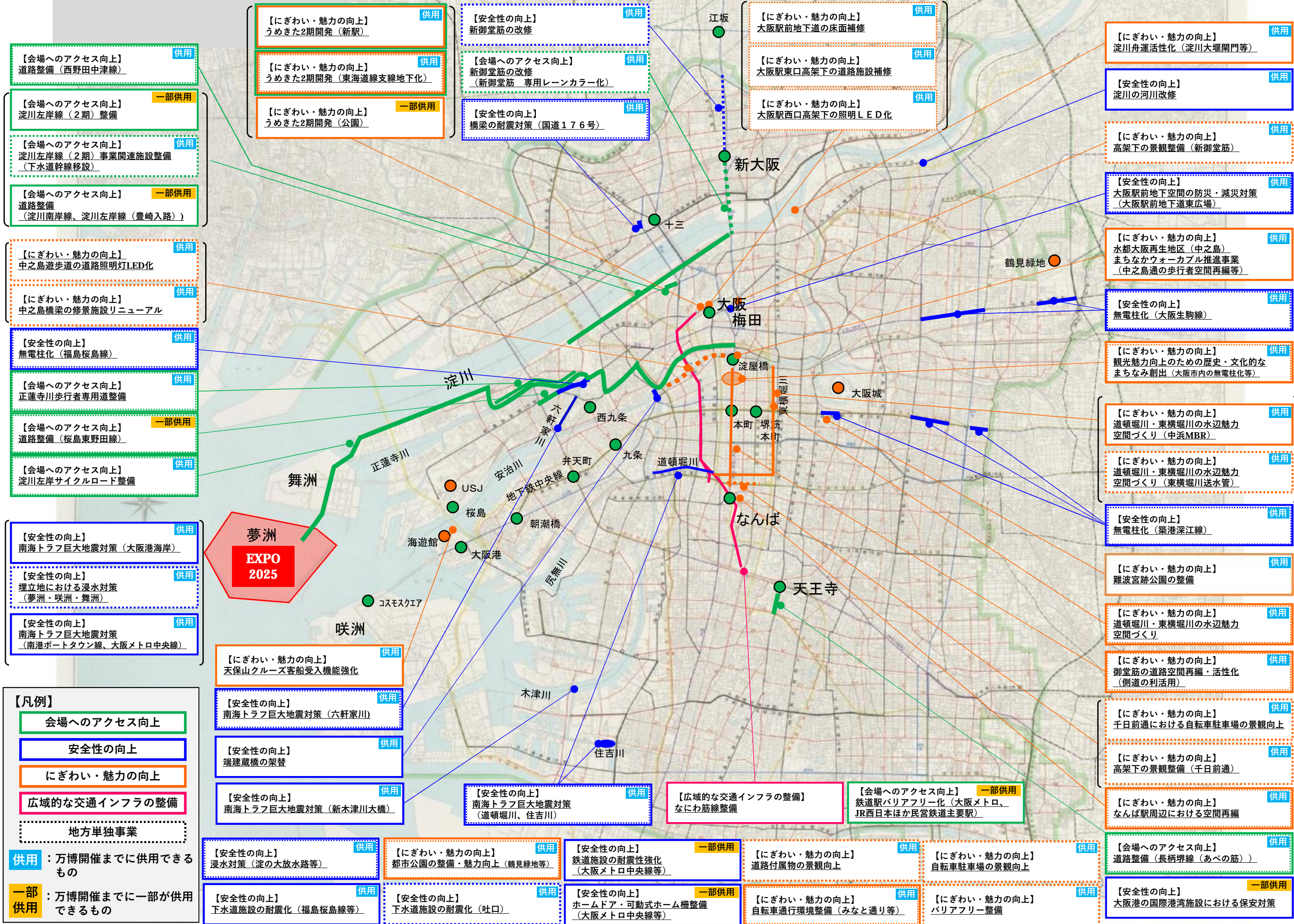
来訪者や運営関係者など、誰もが過ごしやすい環境整備のため、ユニバーサルデザインの考え方に基づいた取組みや、多言語対応窓口の設置、来訪者をサポートするボランティア活動の促進、暑さ対策などを進める必要があります。

また、世界各国からの円滑な参加促進のため、参加国・参加者に対する優遇措置を講じていくことが必要です。

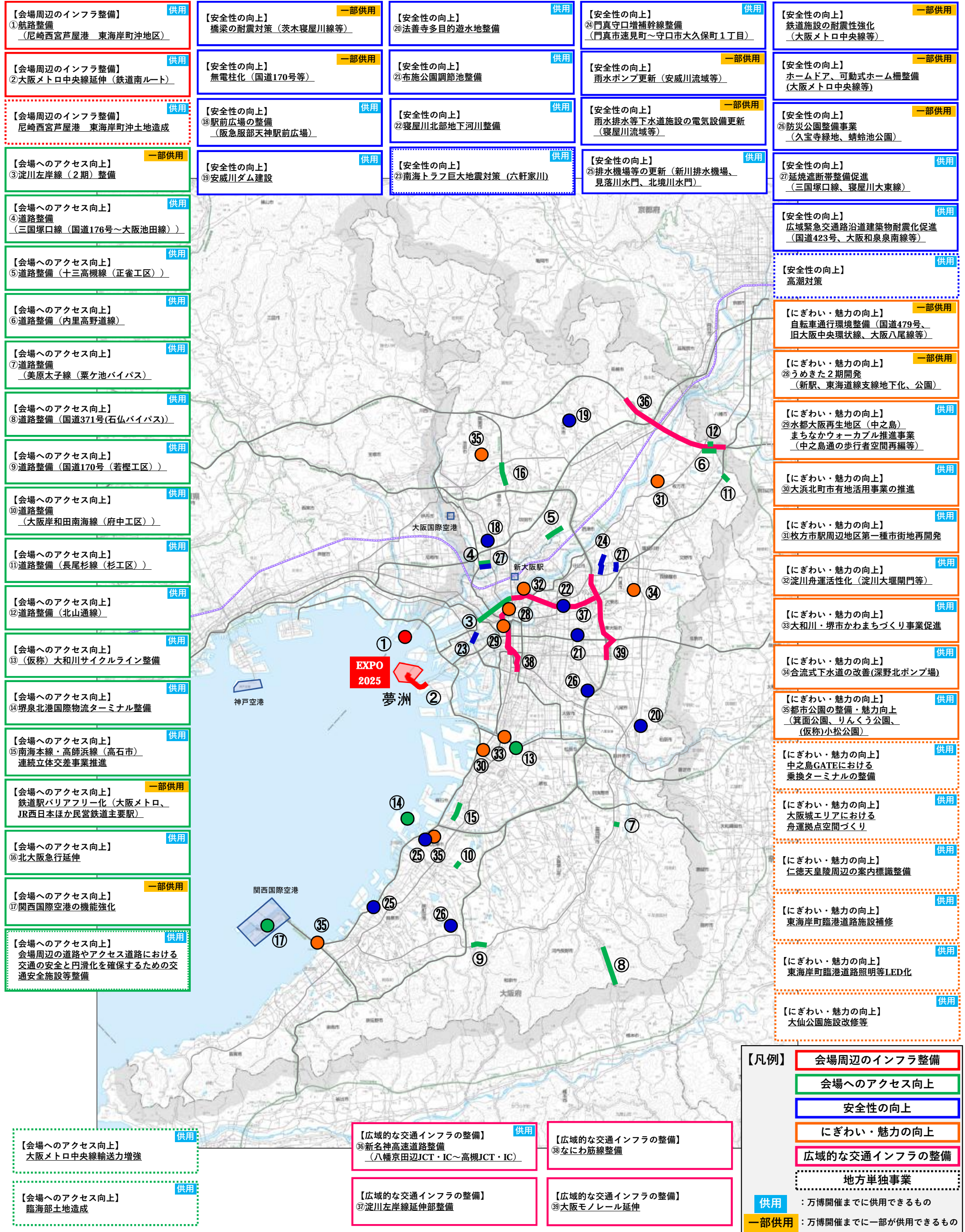
2025年大阪・関西万博 万博関連事業箇所図【会場周辺】



2025年大阪・関西万博 万博関連事業箇所図【大阪市内】



2025年大阪・関西万博 万博関連事業箇所図【大阪府域】



- 【会場周辺のインフラ整備】 ①航路整備 (尼崎西宮芦屋港 東海岸町沖地区) **供用**
- 【会場周辺のインフラ整備】 ②大阪メトロ中央線延伸 (鉄道南ルート) **供用**
- 【会場周辺のインフラ整備】 ③淀川左岸線 (2期) 整備 **一部供用**
- 【会場へのアクセス向上】 ④道路整備 (三国塚口線 (国道176号~大阪池田線)) **供用**
- 【会場へのアクセス向上】 ⑤道路整備 (十三高槻線 (正雀工区)) **供用**
- 【会場へのアクセス向上】 ⑥道路整備 (内里高野道線) **供用**
- 【会場へのアクセス向上】 ⑦道路整備 (美原太子線 (粟ヶ池バイパス)) **供用**
- 【会場へのアクセス向上】 ⑧道路整備 (国道371号(石仏バイパス)) **供用**
- 【会場へのアクセス向上】 ⑨道路整備 (国道170号 (若樫工区)) **供用**
- 【会場へのアクセス向上】 ⑩道路整備 (大阪岸和田南海線 (府中工区)) **供用**
- 【会場へのアクセス向上】 ⑪道路整備 (長尾杉線 (杉工区)) **供用**
- 【会場へのアクセス向上】 ⑫道路整備 (北山通線) **供用**
- 【会場へのアクセス向上】 ⑬ (仮称) 大和川サイクルライン整備 **供用**
- 【会場へのアクセス向上】 ⑭堺泉北港国際物流ターミナル整備 **供用**
- 【会場へのアクセス向上】 ⑮南海本線・高師浜線 (高石市) 連続立体交差事業推進 **供用**
- 【会場へのアクセス向上】 ⑯鉄道駅バリアフリー化 (大阪メトロ、JR西日本ほか民営鉄道主要駅) **一部供用**
- 【会場へのアクセス向上】 ⑰北大阪急行延伸 **供用**
- 【会場へのアクセス向上】 ⑱関西国際空港の機能強化 **一部供用**
- 【会場へのアクセス向上】 ⑲会場周辺の道路やアクセス道路における交通の安全と円滑化を確保するための交通安全施設等整備 **供用**
- 【会場へのアクセス向上】 ⑳大阪メトロ中央線輸送力増強 **供用**
- 【会場へのアクセス向上】 ㉑臨海部土地造成 **供用**

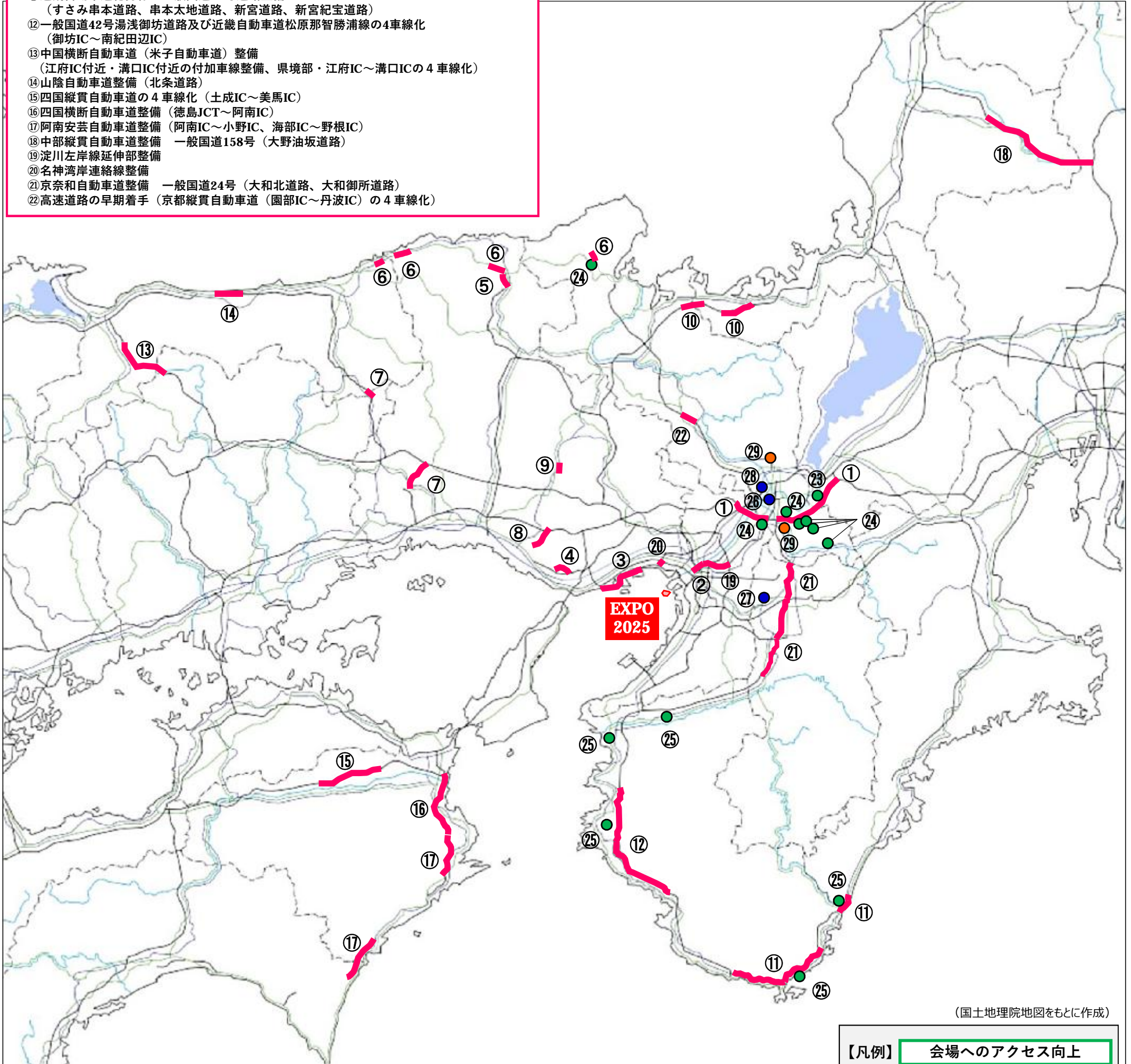
- 【安全性の向上】 ⑲安威川ダム建設 **供用**
- 【安全性の向上】 ⑳法善寺多目的遊水地整備 **供用**
- 【安全性の向上】 ㉑布施公園調節池整備 **供用**
- 【安全性の向上】 ㉒寝屋川北部地下河川整備 **供用**
- 【安全性の向上】 ㉓南海トラフ巨大地震対策 (六軒家川) **供用**
- 【安全性の向上】 ㉔門真守口増補幹線整備 (門真市速見町~守口市大久保町1丁目) **供用**
- 【安全性の向上】 ㉕雨水ポンプ更新 (安威川流域等) **一部供用**
- 【安全性の向上】 ㉖排水機場等の更新 (新川排水機場、見落川水門、北境川水門) **供用**
- 【安全性の向上】 ㉗延焼遮断帯整備促進 (三国塚口線、寝屋川大東線) **供用**
- 【安全性の向上】 ㉘広域緊急交通路沿道建築物耐震化促進 (国道423号、大阪和泉泉南線等) **供用**
- 【安全性の向上】 ㉙高潮対策 **供用**
- 【安全性の向上】 ㉚駅前広場の整備 (阪急服部天神駅前広場) **供用**
- 【安全性の向上】 ㉛無電柱化 (国道170号等) **一部供用**
- 【安全性の向上】 ㉜橋梁の耐震対策 (茨木寝屋川線等) **一部供用**
- 【安全性の向上】 ㉝鉄道施設の耐震性強化 (大阪メトロ中央線等) **一部供用**
- 【安全性の向上】 ㉞ホームドア、可動式ホーム柵整備 (大阪メトロ中央線等) **一部供用**
- 【安全性の向上】 ㉟防災公園整備事業 (久宝寺緑地、蜻蛉池公園) **一部供用**
- 【安全性の向上】 ㊱水都大阪再生地区 (中之島) まちなかウォークラブル推進事業 (中之島通の歩行者空間再編等) **供用**
- 【安全性の向上】 ㊲大和川・堺市かわまちづくり事業促進 **供用**
- 【安全性の向上】 ㊳淀川舟運活性化 (淀川大堰開門等) **供用**
- 【安全性の向上】 ㊴大和川・堺市かわまちづくり事業促進 **供用**
- 【安全性の向上】 ㊵合流式下水道の改善 (深野北ポンプ場) **供用**
- 【安全性の向上】 ㊶都市公園の整備・魅力向上 (箕面公園、りんくう公園、(仮称)小松公園) **供用**
- 【にぎわい・魅力の向上】 ㊷中之島GATEにおける乗換ターミナルの整備 **供用**
- 【にぎわい・魅力の向上】 ㊸大阪城エリアにおける舟運拠点空間づくり **供用**
- 【にぎわい・魅力の向上】 ㊹仁徳天皇陵周辺の案内標識整備 **供用**
- 【にぎわい・魅力の向上】 ㊺東海岸町臨港道路施設補修 **供用**
- 【にぎわい・魅力の向上】 ㊻東海岸町臨港道路照明等LED化 **供用**
- 【にぎわい・魅力の向上】 ㊼太仙公園施設改修等 **供用**
- 【にぎわい・魅力の向上】 ㊽自転車通行環境整備 (国道479号、旧大阪中央環状線、大阪八尾線等) **一部供用**
- 【にぎわい・魅力の向上】 ㊾うめきた2期開発 (新駅、東海道線支線地下化、公園) **一部供用**
- 【にぎわい・魅力の向上】 ㊿大浜北町市有地活用事業の推進 **供用**
- 【にぎわい・魅力の向上】 ⑳枚方市駅周辺地区第一種市街地再開発 **供用**
- 【にぎわい・魅力の向上】 ㉑大和川・堺市かわまちづくり事業促進 **供用**
- 【にぎわい・魅力の向上】 ㉒淀川舟運活性化 (淀川大堰開門等) **供用**
- 【にぎわい・魅力の向上】 ㉓大和川・堺市かわまちづくり事業促進 **供用**
- 【にぎわい・魅力の向上】 ㉔合流式下水道の改善 (深野北ポンプ場) **供用**
- 【にぎわい・魅力の向上】 ㉕都市公園の整備・魅力向上 (箕面公園、りんくう公園、(仮称)小松公園) **供用**
- 【にぎわい・魅力の向上】 ㉖中之島GATEにおける乗換ターミナルの整備 **供用**
- 【にぎわい・魅力の向上】 ㉗大阪城エリアにおける舟運拠点空間づくり **供用**
- 【にぎわい・魅力の向上】 ㉘仁徳天皇陵周辺の案内標識整備 **供用**
- 【にぎわい・魅力の向上】 ㉙東海岸町臨港道路施設補修 **供用**
- 【にぎわい・魅力の向上】 ㉚東海岸町臨港道路照明等LED化 **供用**
- 【にぎわい・魅力の向上】 ㉛太仙公園施設改修等 **供用**
- 【広域的な交通インフラの整備】 ㉜新名神高速道路整備 (八幡京田辺JCT・IC~高槻JCT・IC) **供用**
- 【広域的な交通インフラの整備】 ㉝なにわ筋線整備 **供用**
- 【広域的な交通インフラの整備】 ㉞淀川左岸線延伸部整備 **供用**
- 【広域的な交通インフラの整備】 ㉟大阪モノレール延伸 **供用**

- 【凡例】 会場周辺のインフラ整備
- 会場へのアクセス向上
- 安全性の向上
- にぎわい・魅力の向上
- 広域的な交通インフラの整備
- 地方単独事業
- 供用 : 万博開催までに供用できるもの
- 一部供用 : 万博開催までに一部が供用できるもの

2025年大阪・関西万博 万博関連事業箇所図【関西広域】

【広域的な交通インフラの整備】

- ①新名神高速道路整備（八幡京田辺JCT・IC～高槻JCT・IC、大津JCT～城陽JCT・IC）
- ②淀川左岸線（2期）整備
- ③大阪湾岸道路西伸部整備（六甲アイランド北～駒栄）
- ④神戸西バイパス整備
- ⑤北近畿豊岡自動車道整備 一般国道483号（豊岡道路、豊岡道路Ⅱ期）
- ⑥鳥取豊岡宮津自動車道（山陰近畿自動車道）整備
（京丹後大宮IC～大宮峰山IC（大宮峰山道路）、浜坂道路Ⅱ期、竹野道路、岩美道路）
- ⑦中国横断自動車道姫路鳥取線整備
（播磨自動車道（播磨新宮IC～宍粟JCT）、鳥取自動車道（志戸坂峠））
- ⑧東播磨道整備（八幡稲美ランプ～（仮）国道175号ランプ）
- ⑨東播磨丹波連絡道路整備 一般国道175号（西脇北バイパス）
- ⑩近畿自動車道敦賀線（舞鶴若狭自動車道）整備（舞鶴東IC～小浜西ICの一部4車線化）
- ⑪近畿自動車道紀勢線 一般国道42号道路整備
（すさみ串本道路、串本太地道路、新宮道路、新宮紀宝道路）
- ⑫一般国道42号湯浅御坊道路及び近畿自動車道松原那智勝浦線の4車線化
（御坊IC～南紀田辺IC）
- ⑬中国横断自動車道（米子自動車道）整備
（江府IC付近・溝口IC付近の付加車線整備、県境部・江府IC～溝口ICの4車線化）
- ⑭山陰自動車道整備（北条道路）
- ⑮四国縦貫自動車道の4車線化（土成IC～美馬IC）
- ⑯四国横断自動車道整備（徳島JCT～阿南IC）
- ⑰阿南安芸自動車道整備（阿南IC～小野IC、海部IC～野根IC）
- ⑱中部縦貫自動車道整備 一般国道158号（大野油坂道路）
- ⑲淀川左岸線延伸部整備
- ⑳名神湾岸連絡線整備
- ㉑京奈和自動車道整備 一般国道24号（大和北道路、大和御所道路）
- ㉒高速道路の早期着手（京都縦貫自動車道（園部IC～丹波IC）の4車線化）



（国土地理院地図をもとに作成）

【会場へのアクセス向上】 ㉓道路整備 （宇治田原大石東線（龍門工区））	供用
【会場へのアクセス向上】 ㉔道路整備 （山城総合運動公園城陽線（城陽橋）等）	供用
【会場へのアクセス向上】 ㉕道路整備 （南港山東線（西浜～関戸）等）	供用

【安全性の向上】 ㉖桂川、宇治川、木津川の 河道掘削、河川改修等	一部供用
【安全性の向上】 ㉗大和川流域の強靱化（遊水地整備、 河川改修、流域貯留浸透事業推進等）	一部供用
【安全性の向上】 ㉘いろは吞龍トンネル整備 （桂川右岸流域下水道）	供用

【にぎわい・魅力の向上】 ㉙都市公園の整備・魅力向上 （木津川運動公園、鴨川公園）	一部供用
【安全性の向上】 鴨川等の河川緊急浚渫	供用

【凡例】	会場へのアクセス向上
	安全性の向上
	にぎわい・魅力の向上
	広域的な交通インフラの整備
	地方単独事業
供用	：万博開催までに供用できるもの
一部供用	：万博開催までに一部が供用できるもの